

① 以下の文章を読みながら「さ・し・す・せ・そ」に○（まる）をつけてください。

はるのわかばやしんりよくのもりのうつくしさとともに、なつこのみどりがすんだあとのあきのはやしのこうようのけしきも、いづれおとらぬしぜんのほこりです。にほんにはむかしからこうようのめいしょがおおく、また、いたるところにこうようをみることができま

す。かんとくではにっこうやしおばら、かんさいではきょうとのあらしやま、たかおなどはゆうめいなものです。いったいどうしてきのはがそんなにあかくなるのかとといいますと、それはあきになるときゅうにすずしくなる、そのきこうのへんかのために、しんりよくのところでおはなしした、ようりよくそがしだいにかわってきて、はのなかのさいぼうないにこうしょくのえきたいができますからです。もみじのうつくしきは、しょくぶつそのもののしゆるいと、そのはっせいのじょうたいとでそれぞれちがいますが、いちめんにはふきんのけしきにもさゆうされるものです。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

さ	し	す	せ	そ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ 何について書かれた文章でしたか？口頭で教えてください。

【文章】 仮名拾い（かなひろい） 課題プリント その4 - さ行編

答え ② さ：6 し：20 す：10 せ：1 そ：7

③ 日本の紅葉について書かれた文章。など

文章の出典：

森林と樹木と動物 - 本多 静六 著
を平仮名に加工して作成

◎ リハプリント